

授業科目 法学

【担当教員名】 梶原洋生	対象学年	1	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

本講義では、まず法の基礎概念を理解する。ここから法体系と法の実相について学ぶ。福祉（ケア）との関係に配慮しつつ、法の世界の特徴を体験し、今日の社会における法の作用と機能を身近に習得していく。これらを通じて法の思考を深めるとともに、実体的な考察の窓口を作る。人権理論を学びながら国法体系を習得し、かつ市民社会の法を身につける。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

1. 法システムを関係付けられる。
2. 憲法を説明できる。
3. 民法を説明できる。
4. ケース・スタディを討議する。
5. 法的な思考から理論構成を行なう。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	「法学」への取組み（受講上の留意点）		講義
2	社会生活の営みと法		講義
3	私生活の営みと法		講義
4	国家と法		講義
5	法の基礎概念と人権理論		講義
6	日本国憲法の全体像とその作用		講義
7	基本的人権の保障：ケース・スタディ		講義
8	統治の仕組みと判例		講義
9	司法と福祉		講義
10	民法の全体像とその作用		講義
11	民法総則		講義
12	物件と債権		講義
13	債権の実際		講義
14	家族関係と法		講義

【使用図書】

<書名>

<著者名>

<発行所>

<発行年・価格・その他>

教科書
(必ず購入する書籍)

『社会福祉士養成講座12・法学』、福祉士養成講座編集委員会、中央法規、最新刊
『社会福祉小六法』、ミネルヴァ書房、最新版

参考書

適宜

その他の資料

適宜

【評価方法】

出席点、平常点、試験点による

【履修上の留意点】